

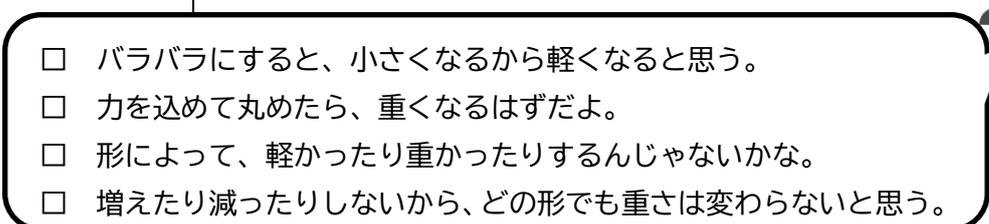
実践例6 《 場面(3)「主体的に問題解決しようとする態度を養う」学びの場面 》

1 単元 小学校3年「ものの重さ」(本時4/6)

2 本時の目標

- 物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決をしようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 活動について

	具体的な内容
問題解決の場面	[予想・実験・考察の場面]
対象となる 「粘り強い取り 組み」や 「自らの学習を 調整しようとする 姿」の具体	<p>〈粘り強い取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土を様々に変形させて重さを量っている。また、変形させた粘土の重さを繰り返し量っている。 <p>〈自らの学習を調整しようとする姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験結果の共有を踏まえて、自分の考えを見直そうとしている。
 ポイントとなる 「手立ての工夫」	<p>ポイント① 実験方法を児童一人一人が決める</p> <p>それぞれの児童が確かめたい事物・現象に合わせて実験することができるので、《粘り強く取り組む姿》が期待される。</p> <p>ポイント② 実験結果をロイロノートで共有する</p> <p>📷撮影した一人一人の実験結果(種類や回数)《粘り強い取り組みの評価》を変形の種類によって分類しながら、4人程度で共有する。【共有ノート機能を活用】</p> <p>共有ノートの提出により、学級全体で共有し話し合うことができるので、《自らの学習を調整しようとする姿》が期待される。</p> <p>ポイント③ 予想と考察を比較し、考えの変容過程について振り返る</p> <p>振り返りの記述《自らの学習を調整しようとする姿の評価》を通して、児童が自分の学習過程を評価・改善することが期待される。</p>
	<p>◎学習問題～予想の話し合い</p> <p>粘土の形を変えて、重さを量ると、重さは変わりますか？ 「軽くなる、重くなる、変わらない」から、考えましょう。</p> 
	 <ul style="list-style-type: none"> □ バラバラにすると、小さくなるから軽くなると思う。 □ 力を込めて丸めたら、重くなるはずだよ。 □ 形によって、軽かったり重かったりするんじゃないかな。 □ 増えたり減ったりしないから、どの形でも重さは変わらないと思う。



◎実験方法（児童一人一人が決める）

ポイント①

「ばらばらにする」「丸くする」「平らにする」など、自分が確かめたいと思う形に変えて、繰り返し重さを量ってみましょう。

粘り強い取り組み

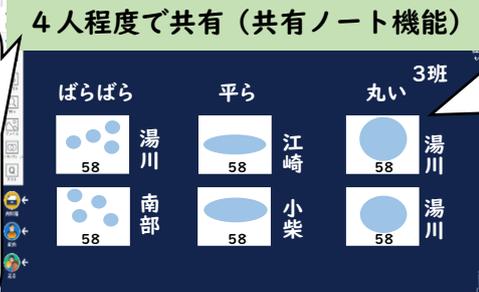
*児童の発言に合わせて、実験方法を例示

◎実験～実験結果の共有、話し合い（実験結果を共有する）

4人程度で共有（共有ノート機能）

ロイロノート
共有ノート機能

少人数で同じ画面を共有でき、投稿者の名前も表示される。





撮影した画像

ポイント②

☆1回の実験につき1枚の画像

「粘り強い取り組み」や「自らの学習を調整しようとする姿」が見られる

活動の流れ

*実験の様子を撮影した画像を共有し、変形の種類により分類

提出箱へ

1班

2班

3班

4班

5班

6班

7班

全員で共有

□ どんな形にしても、みんな同じ実験結果だね。

□ 形を変えても、物が増えたり減ったりしていないから…。

自らの学習を調整しようとする

◎考察～振り返り（考えの変容過程について振り返る）

<p>【①よそう】 かるくなる</p> <p>そうかんがえた りゆう</p> <p>ばらばらにすると、少し小さくなって、重さがなくなると思うから</p>	<p>【②かんがえたこと（こうさつ）】</p> <p>ねん土をいろいろな形にしても、重さはかわらなかった。とちゅうで、ものが、増えたりへったりしていないからだと思う。</p>	<p>【③わかったこと（けつろん）】</p> <p>ねん土の形をかえても重さはかわらない。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------

ポイント③

④ふりかえり

[かんがえたこと]のようかんがえるようになったりゆうは何ですか？

じっけんのけっかが自分だけでなく、他の人もどんな形にしても、重さがかわらなかった。○○さんの言っていた「増えたりへったりしていない」に、なるほど！と思った。

【ワークシート例】

他の人の実験結果

他の人の理由

○【実験・振り返りの場面】において、2つの側面における子どもの記録と記述から総合的に判断する。

《自らの学習を調整しようとする》	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">a</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">B</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">A</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">b</td> <td style="padding: 5px;">B</td> <td style="padding: 5px;">B</td> <td style="padding: 5px;">B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">c</td> <td style="padding: 5px;">C</td> <td style="padding: 5px;">C</td> <td style="padding: 5px;">C</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">△</td> <td style="padding: 5px;">○</td> <td style="padding: 5px;">◎</td> </tr> </table>	a	B	A	A	b	B	B	B	c	C	C	C		△	○	◎	<p>湯川さんの場合</p> <p>《粘り強い》</p> <p>→ 3回の実験：○</p> <p>《学習の調整》</p> <p>→ 結果と理由：a</p> <p>『主体的』：A</p>
a	B	A	A															
b	B	B	B															
c	C	C	C															
	△	○	◎															

《粘り強い取り組み》

○：計3回以上の実験 ◎：3種類以上かつ各2回以上の実験

評価の場面と観点（主体的に学習に取り組む態度）

実践例6-2

